



新宿山吹だより

都立新宿山吹高等学校通信
令和7年度第6号
【令和7年9月1日】

新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

戦後80年、昭和100年

校長 永浜 裕之

今年は戦後80年、昭和100年の節目の年です。

一国の歴史には、輝かしい歴史や恥ずべき歴史があり、光と影が幾重にも積み重なって民族の歴史となり、今日の私たちに繋がっています。先人に敬意を払い、未来に繋ぐためにも、歴史に正対し、歴史から教訓を得なければなりません。

節目の今年、戦後80年を振り返り、考えを深めてみたいと思いますが、そのためには、明治維新からの日本の状況も踏まえて考察する必要があります。

19世紀、アジアは西洋帝国主義に蹂躪(じゅうりん)されました。当時の日本は、西洋列強の植民地化圧力に抗(あらが)う決意のもと、明治維新を経て近代化を進めました。西郷隆盛は、「日本の独立」、「アジアとの連携」の2大命題を背負って時代を生き抜いた先人の一人と考えます。

西郷は、「西洋は未開の国々を教導するどころか、残忍に食い物にして利益をむさぼる。これは文明ではなく野蛮だ。」と述べています。征韓論者と言われた西郷ですが、「朝鮮国に交流を深める目的で行くのだから、兵隊を連れて行ってはいけない。」という言葉から分かるように、西郷は日朝の連帯、日朝清3国の連帯を求めていると考えます。アジア諸国が連帯して西洋帝国主義に抗うべきということです。

明治政府は明治8(1875)年、江華島事件により朝鮮国政府を挑発し、日本に有利な条約を結ばせます。西郷は、「天に恥ずべき行いだ」と烈火のごとく怒ります。日本の行為は、西洋列強の手口に似たものだと考えたからです。

吉田松陰は、「西洋列強から日本を守るには、進んでアジア諸国を侵略し、領土を広げていくしかない」と述べています。松陰の帝国主義思想は、伊藤博文はじめ明治の指導者に受け継がれ、日本の基本路線となっていきました。

石橋湛山(たんざん)は、著書「大日本主義の幻想」(大正10、1921年)で、「賢明なる策は、すみやかに朝鮮・台湾を開放し、中国・ロシアに対して平和主義をとるにある。而(しこう)して彼らの道徳的後援を得る。かくて初めて我が国の経済は東洋の原料と市場とを十二分に利用し、かくて初めて我が国の国防は泰山の安(やすき)を得るであろう」と述べ、帝国主義を否定し、国際協調・自由貿易を主張しました。

大正13(1924)年、辛亥革命の指導者、孫文は、「あなたがた日本民族は、西洋覇道の手先となるのか、それとも、東洋王道の砦となるのか」という、有名な大アジア主義演説を神戸で行い、帝国主義日本に痛烈な批判、忠告を行いました。

80年前、国内外に筆舌に尽くしがたい厄災をもたらし、終戦を迎えた日本。

茨城県出身の藤井 一(ふじい はじめ) 少佐は、昭和20(1945)年5月28日に特攻で亡くなっていますが、藤井少佐の妻は1944年12月、「私達がいたのではこの世の未練になり、思う存分の活躍が出来ないでしょうから、一足お先に逝って待っています」という遺書を残し、長女と次女を連れて飛行学校近くの荒川に身を投げました。

こんな悲しい現実を我が国は経験したのです。戦後80年を生きる私たちは、戦争が国の内外にどれほど深い痛み、苦しみを与えたのか、あらためて見つめ直し、同じ轍を踏まぬよう、心に刻むべきです。

敗戦後日本は、サンフランシスコ平和条約、国際連合加盟を経て、国際社会に復帰しました。

日米安保に依存しつつ、非軍事外交、国際協調主義を貫き、自由貿易体制の恩恵を受けて経済発展を成し遂げ、「東洋の奇跡」と讃えられました。

今、国際秩序が乱れ、民主主義、人権、法の支配といったもののまで光を失いつつあります。

マーク・トウェインが「歴史は韻を踏む」と述べたように、世界は100年前の状態に似てきました。格差が拡大し、社会に分断対立が生まれ、排外主義が台頭し、既存の政治が支持を失って、ポピュリズムにのみ込まれようとしています。

歴史の流れは大河に似ています。川の流れはときによどみ、ときに奔流となりますが、私たちはこれに吞まれてはならず、大河の奔流を見失ってはなりません。力に力に対抗しようとすれば、どちらか一方は力の論理で潰されることになります。覇道は利益にならないことを、日本人は身をもって学んだはずです。

お互いの違いを認め合い、ともに手を携えて生きていく。多文化共生の世界を作ることこそ歴史から学んだことです。

戦争否定の理想を継続し、平和のための思想・行動を一貫して保持すべきだと考えます。軍事力で身を守ること否定できませんが、敵を作らず、平和な信頼関係を築くことが、望ましい安全保障だと考えます。

令和8年度「次世代の学びの基盤プロジェクト」生涯学習講座について

社会状況が急速に変化する中、生徒一人一人が柔軟に社会の変化に対応し、創造性、主体性、チャレンジ精神などを育成することが求められています。そのため、都教育委員会は今年度、学びの在り方そのものを見直し、生徒の興味・関心や適性に合わせた教育への変革を推進する「次世代の学びの基盤プロジェクト」～「新たな教育のスタイル」の確立に向けて～という施策を開始しています。

新宿山吹高校は、本プロジェクトに基づく取組のモデル実施校として都教育委員会の指定を受け、「デジタル教科書の活用」、「オンライン学習」、「LMS導入」、「通信制＋ α 講座実施」などの取組を行っています。

さらに、「新たな教育のスタイル」のモデル的な取組の一つとして、「新分野のデジタル教材」の開発があります。都教育委員会は、新分野のデジタル教材として、「生成AI」などの5科目について開発しているところです。

さて、新宿山吹高校の生涯学習講座は、「生徒が、高等学校卒業後も、生涯に渡って学びを継続する能力や態度を培うため、社会人(都民)とともに学ぶ機会を設け、社会人の真摯な学びの姿から、生涯に渡って学ぶ決意を行う」ことを目標に、平成3年度、本校開校当時から設置されています。高等学校の教科・科目の一部領域を深く学ぶ15講座を設置し、生徒が社会人と共に学んでいます。

ユニークな取組ですが、受講者数は今年度、社会人351名に対し生徒は6名(1.7%)という厳しい現状です。

本校の生涯学習講座は、原則として生徒10名、社会人20名、合計30名の定員で開講しています。

生徒の受講を推進するために、「次世代の学びの基盤プロジェクト」の考え方を取り入れ、令和8年度に生涯学習講座を大きく見直します。

生徒の皆さんの受講を期待するとともに、保護者の皆様の受講も期待しています。また、現在受講されている社会人の皆様のご理解・ご協力をお願いするとともに、引き続きの受講につきまして期待しております。

令和8年度「次世代の学びの基盤プロジェクト」生涯学習講座

No	講座名	講座内容
1	生成A I	※ 東京都教育委員会が開発中の新分野のデジタル教材の内容を含みます。 テキスト、画像、音声など、様々なコンテンツを新たに生成できる人工知能 「生成AI」(Generative AI)に関する知識、運用方法等を学びます。
2	データサイエンス	※ 東京都教育委員会が開発中の新分野のデジタル教材の内容を含みます。 大量のデータから価値ある情報を抽出し、分析、解釈する学問です。データから情報を引き出すことで、効率的かつ効果的な意思決定が可能になり、将来の予測や新しいサービスの開発にも役立ちます。そのため、法律、金融、心理、工学、スポーツなど様々な分野に必要なスキルとなっています。
3	アントレプレナーシップ	※ 東京都教育委員会が開発中の新分野のデジタル教材の内容を含みます。 アントレプレナーシップ(entrepreneurship)は、日本語で「起業家精神」を訳し、新しい価値を創造し、社会に積極的に貢献することを目指す思考や行動を学ぶ講座です。単に起業する人の資質を育成するだけでなく、既存の枠にとらわれず、変化を恐れずに新しいことに挑戦する姿勢や、課題解決に向けて積極的に行動する能力育成を目指します。
4	行動経済学・ゲーム理論	※ 東京都教育委員会が開発中の新分野のデジタル教材の内容を含みます。 ゲーム理論の基本的な考え方を学び、ゲーム理論がどのように社会と結びついているのか、合理的に物事を判断する方法も学びます。
5	クリエイティブ グラフィックアート	※ 東京都教育委員会が開発中の新分野のデジタル教材の内容を含みます。 デジタル技術を駆使してアート作品を作ります、コンピュータを使用して、画像を生成したりスキャンしたり、デジタルに関するさまざまな技法を学びます。デジタルアートの構図や表現技法を学びながら、各自の端末にて作品の制作実習に取り組んでいきます。
6	文章教室	高度な「文章の読み取り方・書き方」を指導。全教科の基礎となる国語力をアップします。受験対策としての小論文指導も行います。プロの物書きを目指す方はもちろん、就職活動に使う履歴書、就職・進学活動で使う志望動機書の書き方や、効果的な自己アピール法も習得します。ブログやメール、SNSに使う文章の書き方から、本格的な文章作品の書き方も学びます。
7	グローバル人材育成教室	新聞やテレビ等で発信されるニュース報道を読み解き、活用する力(時事力)を養います。現代社会のできごとを多角的・公正に理解・判断し、その課題を解決していく礎となる総合的な力(知識、思考力・判断力など)を養います。先行き不透明な時代に、人生を切り開くために不可欠な力を身に付けます。希望者は、ニュース時事能力検定(ニュース検定、N検)で資格を取得できます。
8	哲学対話 (ことばの寺子屋)	哲学的なテーマについて、参加者同士で対話を通じて考えを深める営みを行います。普段当たり前だと思っていることを問い直し、他者の意見を聞くことで、新たな発見や気づきを得ることが出来ます。哲学対話を重ねることにより、思考力の向上、コミュニケーション能力の向上、自己理解の深化、多様性の理解などの効果が期待できます。
9	F P 教室	「貯蓄から投資へ」という時代、個人の資産運用やライフプランに関する相談に乗る専門家、FP(ファイナンシャルプランナー、Financial Planner)の知識は重要です。FPは、金融、税制、不動産、保険など幅広い知識を持ち、個人の夢や目標を達成できるよう、お金に関するアドバイスやサポートを行います。本講座は、FPとしての知識を学びます。
10	カウンセリング教室	将来カウンセラー等の心理職につくことを目指す人や自分及び人の悩みを受け止める知識を得るための講座です。カウンセリングの基本的な概念と歴史を学び、様々な技法を自分自身及び受講者同士で実践して身に付けることを目指します。また、ストレス管理を学び、日常生活のストレスとうまく付き合い、自分自身のメンタルヘルスを守る力も養います。
11	ビジネス英語	CALL教室(パソコン、ヘッドセット等のAV機器完備)で各自パソコンを使い、ビジネスシーンでの初歩の英会話および英文Eメールの書き方を学習します。また英語のニュースや新聞・雑誌記事にもチャレンジしてネットリサーチのスキル、文脈理解力、単語力を養います。ロールプレー、ディスカッション、発表等を通じてコミュニケーションスキルを養います。ニュース動画やレッスン用動画を使い、発音とヒアリングのスキルを養います。
12	スペイン語	スペイン語は世界中で約5億人が話す言語であり、英語に次いで広く使われています。国際的なビジネスでのキャリア向上やスペインやラテンアメリカの文化理解に繋がります。この講座では日常会話の基礎から職業に活かせる場面までコミュニケーションを重視して実践的に学んでいきます。
13	一人暮らしのための料理教室	高校卒業や社会に出ると一人暮らしを経験することが多いです。そのため、健康を維持するための食生活はますます重要になっています。この講座では、調理実習を通して、食生活(栄養・食品・調理・文化・衛生)に関する技術を学習します。特に、一人暮らしの調理の基本から応用までを学びます。
14	消費生活と法律	世の中の法律をわかりやすい言葉に置き換えて学び、具体的な事例を検討して理解し、それらを日常のどのような場面で活かせるかを考える力を身に付けます。消費者に関する法律や家族に関する民法等を包括的に学び、自身を守る糧として法律を活用する力を養います。